ヨコハマトリエンナーレ2011

まち歩きルートガイドマップ②

日本郵船海岸通倉庫〜元町・中華街駅 編

YOKOHAMA TRIENNALE SUPPORTER

【発行】横浜トリエンナーレサポーター事務局 TEL080-3541-8431

Yokohama City
Kannai Area Map

関内エリア

四つの街並と三つの公園

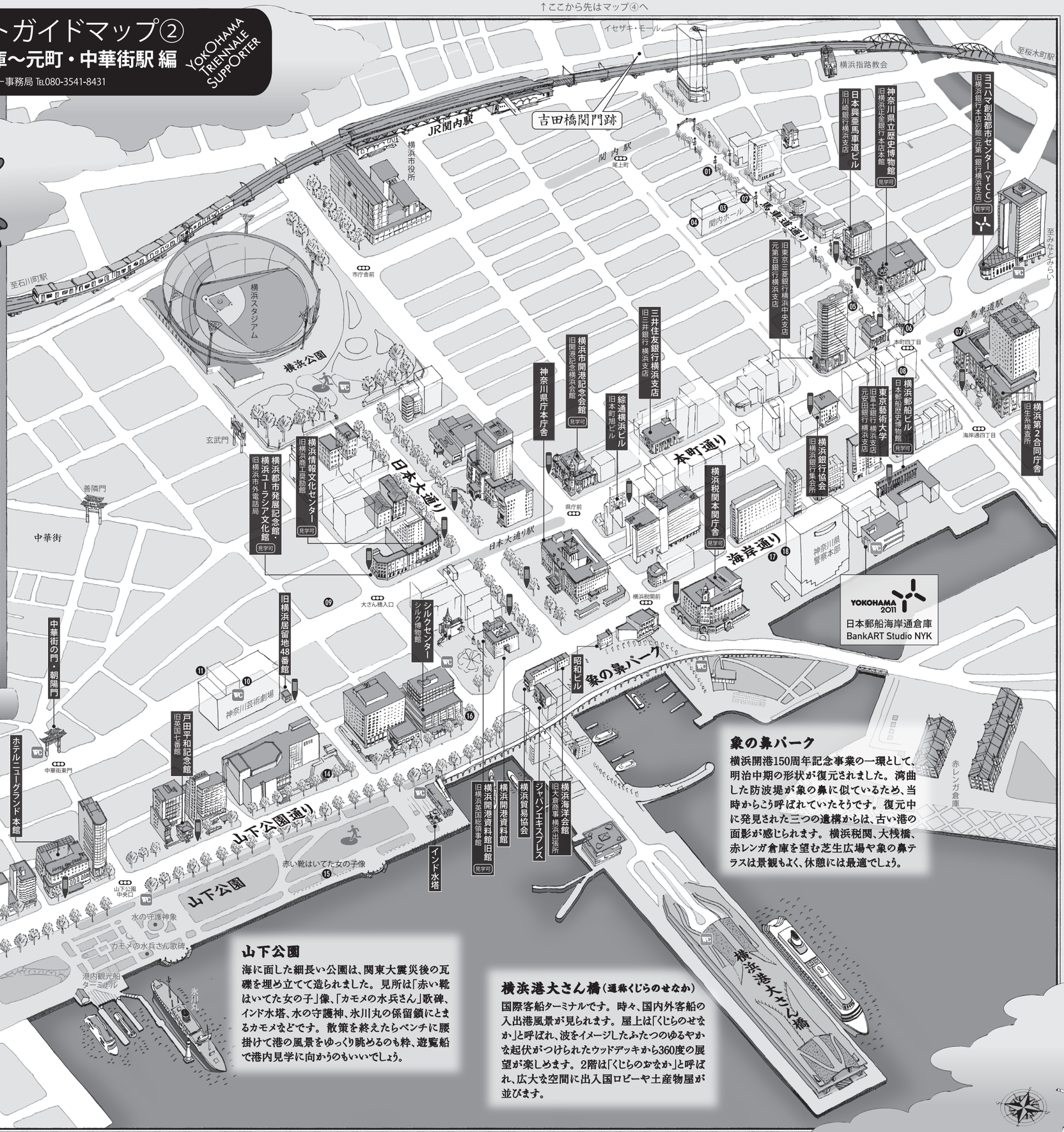
1858年締結の日米修好通商条約に基づいて設置された開港場は、前方を海、残る三方を川に囲まれた島状の区域で、出入りする橋には関門が設けられました。居留地が関門の内側となったことから、やがて関内と呼ばれるようになりました。このルートマップは、関内の特徴を表す四つの街並と三つの公園を紹介します。大きく発展した現在の関内、その中に潜む開港当時の面影を感じていただければ幸いです。

このマップは、ヨコハマトリエンナーレ2011を支えるサポーター（ボランティアスタッフ）が作成した、横浜のまち歩きを楽しんでもらうためのルートガイドマップです。情報の収集からマップの制作まで、サポーターにより行われています。横浜にはオススメの魅力的なスポットがいっぱい！全部で５種類のマップを片手に、街を散策してみてください！

マップはWEB上で会期中もどんどん進化します！
こちらもチェック！ http://www.yokotorisup.com/

情報収集：ヨコハマトリエンナーレ2011サポーター
おもてなしチーム
編　　集：「NYK7」
深野一穂、根本雅美、井上佳恵、田中里佳
菅むつみ、田尻由加子、落合明人
制　　作：アオキジュニヤ

横浜市地形図複製承認番号 平23 建都計第9010号
横浜市建築局都市計画基本図データにより作成
掲載内容は予告なく変更する場合がございます。予めご了承ください。



象の鼻パーク

横浜開港150周年記念事業の一環として、明治中期の形状が復元されました。湾曲した防波堤が象の鼻に似ているため、当時からこう呼ばれていたそうです。復元中に発見された三つの遺構からは、古い港の面影が感じられます。横浜税関、大桟橋、赤レンガ倉庫を望む芝生広場や象の鼻テラスは景観もよく、休憩には最適でしょう。

山下公園

海に面した細長い公園は、関東大震災後の瓦礫を埋め立てて造られました。見所は「赤い靴はいてた女の子」像、「カモメの水兵さん」歌碑、インド水塔、水の守護神、氷川丸の係留鎖にとまるカモメなどです。散策を終えたらベンチに腰掛けて港の風景をゆっくり眺めるのも粋、遊覧船で港内見学に向かうのもいいでしょう。

横浜港大さん橋（通称くじらのせなか）

国際客船ターミナルです。時々、国内外客船の入出港風景が見られます。屋上は「くじらのせなか」と呼ばれ、波をイメージしたふたつのゆるやかな起伏がつけられたウッドデッキから360度の展望が楽しめます。2階は「くじらのおなか」と呼ばれ、広大な空間に出入国ロビーや土産物屋が並びます。

馬車道通り

馬車道駅〜伊勢佐木町往復 1.16km［徒歩約17分］

吉田橋関門から関内東側の居留地へと続く道です。外国人が馬車で往来したことから馬車道と呼ばれるようになりました。横浜を発祥の地として日本各地に広まったものは数多くあります。この通りにも、近代街路樹、アイスクリーム、ガス灯、写真を記念する碑などが設置されていますので、ぜひ探してみてください。

本町通り

馬車道駅〜元町・中華街駅 1.6km［徒歩約32分］

貿易の発展につれて、この界隈に金融機関が進出し、「ハマのウォール街」を形成しましたが、その多くは関東大震災で崩壊・焼失しました。今でも銀行や元銀行の歴史的建造物が多いのは、往時の伝統を引き継ぐからでしょうか。付近には官公庁も多く、横浜を代表するビジネス街の空気を感じていただけるでしょう。

日本大通り

象の鼻前〜横浜公園往復 0.84km［徒歩約11分］

日本初の西洋式街路です。現在は通りの両側に官公庁やオフィスが連なり、重厚な雰囲気を醸し出しています。広い歩道の中央に連なるいちょう並木は見事のひとことです。並木を囲む柵の上部は平坦で、ベンチ代わりにもなります。腰掛けて話すシルエットなどは、映画の1シーンさながらです。

海岸通りと山下公園通り

馬車道駅〜元町・中華街駅 1.9km［徒歩約38分］

開港当時の海岸線で、今でも連なる建物や公園の向こうは海です。横浜郵船ビル・横浜税関などの古い建造物、日米修好通商条約締結の地などが歴史的な雰囲気を漂わせています。四季それぞれの美しさをもついちょう並木を横目に、公園やホテルが連なる山下公園通りを歩けば、横浜らしさを満喫できるでしょう。

パブリックアート一覧

馬車道通り

- 01 彫刻「太陽の母子像」 本郷新制作 アイスクリーム発祥の地
- 02 彫刻「平和Ⅰ」 マルタ・パン制作
- 03 彫刻「ニケとニコラ」 朝倉響子制作
- 04 彫刻「平和Ⅱ」 マルタ・パン制作
- 05 馬の水飲み場
- 06 彫刻「CAVALLO（馬）」 VENANZO CROCETTY制作

本町通り

- 07 壁画「金波銀波」 澄川喜一原画 （駅構内）
- 08 彫刻「阿母」 加椎敬將制作
- 09 陶壁画「時を遡ぼる五つの円形補虫網」 田辺和郎制作
- 10 彫刻「暖かい手で」 岡本敦夫制作
- 11 神奈川自治会館 彫刻
- 12 ヘボン博士邸跡
- 13 壁画「横浜の今昔」 山下清原画

山下公園通り

- 14 彫刻「風の標識」 大成 浩制作
- 15 彫刻「赤い靴はいてた女の子像」 山本正道制作
- 16 彫刻「絹と女」 安田周三郎制作

海岸通り

- 17 モニュメント 神奈川県警本部前
- 18 彫刻「警察官と少年少女像」 神奈川県警本部前

歴史的建造物の見つけ方

1. 歴史的建造物とは

横浜のイメージを形成するハイカラな近代建築のことで、国・神奈川県・横浜市指定の文化財などに認定されているものが多数です。当時の建造物がほぼ残るもの、建て替え等のために建造物の一部のみが保存されているものなどがあります。
（内部に入れる建造物も一部あるが、多くは非公開）

2. 見つけ方

一部を除き、歴史的建造物前の歩道に大人の背丈ほどの紺色地の案内標識が設置されています。

凡例
- 建物案内標識
- WC トイレ（多目的）
- 見学可 見学目的で中に入れる建物
- 広域避難場所